

## 平成 28 年度第 3 回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	平成 28 年 10 月 11 日（火）午後 2 時 30 分～ 桑名市役所多度町総合支所 3 階 305 会議室
出 席 者	委員：6 名 事務局：13 名                                  傍聴者：2 名
議 事 次 第	1. 開会挨拶（企画総務課長） 2. 議事 (1) 前回審議会の補足説明 (2) 現行料金体系と現状分析について (3) 料金の算定について (4) 料金改定例について (5) その他 3. 閉会挨拶
要 旨	1. 開会挨拶 開会后、上下水道事業管理者より挨拶 2 (1) 前回審議会の補足説明 ①有収率が改善された場合の収支シミュレーション ②過去 5 年間の管路及び管渠の当初予算及び繰越額⇒資料 1 ③遊休資産の洗い出し（経営健全化の取組）⇒資料 2 ④料金改定の耐久性 ・有収率が改善された場合は、P D C A サイクルの中でフィードバックしていくと 思うが、最終的には報告書などに落とし込むのか？ ⇒10 年経つとしっかりとした結果は出てくると思うので、それについては検証し、 文章等でどのような改善だったのかをお示しさせていただきたい。 2 (2) 現行料金体系と現状分析について 事務局より説明 ・個人と事業者では料金の乖離が大きく 100 倍以上の金額を払っていただいで いるが、よく使われる方と一般の方と同じような比率でかけているのか？ ⇒使用料に応じて上がっていく、逡増性を採用している。 ・事業所ベースでの料金比較は可能か？水道事業は単に対家庭だけじゃなく、 地域産業政策みたいなものと密接に関係するので、ちょっと目配りをしたい。 ⇒大口需要家がどれだけ各市町によって違うのかは分かる。 ・水道事業の料金改定は比較的大きく、下水道事業は前回大きく上昇させてい るので次回は少なめ、というつもりか？ ⇒経営戦略の財政シミュレーションの中でこれだけ必要だという部分を示し ており、前回上がっているから今回は上げないという議論ではなく、必要な分 についてご議論いただきたい。 ・大口需要家が上下水道財政に与えるウェイトは大きいので、一般家庭の議論

と同時に大口をどのように戦略的に設定するかで、そこが抜けると全体の料金体系に影響を与えてくる危険性があるので、視点を分けて見ていく必要がある。

## 2 (3) 料金の算定について (4) 料金改定例について

事務局より説明。検討項目を3点列挙。

①基本料金：基本料金の割合を増やし従量料金の割合を減らすことで、安定的な収入を得るような体系にするなどをご審議いただきたい。

②基本水量：基本水量を廃止するか存続なのか、もしくは減量なのかなどをご審議いただきたい。

③従量料金：水道事業の水量区分の細分化や逡増度などをご審議いただきたい。

・日本水道協会の料金算定要領を用いたパターンや他のものを出してもらい、それぞれどんな問題点があるかなどを見たうえでないと、どういう料金体系にしていくか、基本料金が本当に低いのか、25%というパーセンテージは適正なのかどうか、などの判断ができない。

⇒協会の算定要領で試算はしているので出すことはできるし、それにのっとり基本料金と従量料金の割合を算出したので、次回提出する。

・基本料金と従量料金の割振りが、基本水量を設けるかというところにもものすごく関係する。きちんと分けられるのであれば基本水量は無くして両方に分けてコストを分けるのは理屈上あり得るかもしれないが、そこが不明確だとなかなか根拠にできない。

・他市町村の従量料金、基本料金の割合は分かるか？

⇒次回、提出する。

・次回の審議会では、料金改定の一定の内容を示していただけたらと思っている。その説明の中で、固定費についてはこういうふうに分けて、その理念形はこういうことだ、ということを教えてもらうことが必要。

・審議会でもどのような議論をしているかなどの周知が必要だと思うが、今後どういった方法で情報提供していくのか？

⇒会議録をとっているもので、要旨をホームページに公開する。

・ホームページを利用しない方もいるので、地区ごとに報告会や説明会を開催してほしい。

⇒桑名、多度、長島各地区で料金改定についての説明会を行わせていただきたい。

また、広報10月号に経営戦略のあらましを掲載した。戦略を推し進めるためにも料金改定等が必要であることと、必要な経費は説明した。

## 2 (5) その他

事務局より、次回の審議会の予定について連絡

## 3. 閉会挨拶

上下水道事業管理者より挨拶

(以上)